

令和2年度 南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和3年1月27日（水）午後1時30分から午後2時30分まで
会 場	南区役所4階 講堂
出席者	<p>南区自治協議会委員 30名（欠席9名）</p> <p>教育委員：小野沢裕子委員、大宮一真委員</p> <p>事務局：教育総務課長、保健給食課長、学校支援課長補佐 学校支援課指導主事、教育総務課主査 白根地区公民館長、白根図書館長 南区教育支援センター所長 他3名</p> <p>南区役所：地域総務課係長・主査</p> <p>傍聴者：2名（南区選出議員）</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員挨拶</p>
小野沢 教育委員	<p>教育委員の小野沢です。去年に引き続きまして南区を担当させてもらいます。どうぞよろしくお願いいたします。去年の2月27日木曜日だったと思いますが、安部前首相の全国学校一斉休校という発言がありました。私は金曜日の朝のラジオを担当していますので、どうなるのだろうと思いながらラジオに臨みました。いつか終息するだろうと思ったのですが、終息しないままこのような状況になりました。大事なことは顔と顔を合わせて会って話しましょうねと伝えてきたものが、できるだけ人に会うなというような状況になってしまいました。このような状況の中で、一人1台タブレット構想が急速に進みました。授業の様子を見させてもらおうと、本当に子どもたちの順応力の高さに驚いています。希望もある反面不安なこともあると思います。そういうことを、今日は皆さんと一緒に共有できたらと思っております。今日は、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
大宮 教育委員	<p>昨年の4月から新しく新潟市の教育委員をさせていただいております、大宮一真と申します。前任の上田委員に替わり、南区を担当させていただいております。私は、PTA 联合会の方にずっと関わってしまして副会長6年、会長3年、9年間联合会の方をさせていただいております。その時に南区のPTA 研究大会には何度か足を運ばせていただきました。南区ではカーリング大会がとても盛んだということで5回くらい私も毎年参加させていただきました。PTA、地域の方も含めて協力体制が取れているなという印象がすごくその時からありました。今日は初めて南区のこういう会議に出させていただきますが、皆様から忌憚のない意見をいただければと思っております。よろしくよろしくお願いいたします。</p>

議 事	<p>3 説明</p> <p>(1) これからの時代の学校教育について (タブレットを活用した授業)</p> <p>(2) 新しい生活様式を踏まえた学校運営について</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>※ (1) (2) の説明内容は会議資料を参照</p>
司会	<p>これより質疑応答に入ります。発言する際にはお名前もお聞かせください。今ほど2つの説明がありましたが、ご質問等がありましたら挙手をお願いします。</p>
自治協委員	<p>2つ質問があります。最初にタブレット端末活用に関わることです。家庭での Wi-Fi 接続というのがありましたが、各家庭でタブレットを使えるようにする際に、器機を設置する場合まとめて学校で割引とかの手続きができるかというのが一つです。もう一つは家庭で設置する場合、設置の仕方等の指導員などはどこから来るのかということです。その2つをお聞きしたい。Wi-Fi というのは、ご両親のなかでなかなか馴染めない人もおられるかもしれません。そういう場合はご案内して学校へ来ていただきご指導されるかどうか、というところが気になりましたのでお伺いしたいと思います。</p>
学校支援課	<p>ご質問ありがとうございます。まず、割引等についてですが、新潟市では家庭にモバイルルーターの貸し出しを4月から順次スタートする予定になっております。ただ、今のところ新潟市では通信料についての補助等はないということになっております。モバイルルーター本体を無償貸し出しすることです。2つ目の設置についての指導員の件ですが、ご家庭のことですので各ご家庭でと考えてはいます。今、そういったご意見がありました、基本的にはご家庭でと考えております。以上です。</p>
自治協委員	<p>私も今 Wi-Fi を使っているのですが、非常に便利なことは便利です。各家庭での環境次第で果たして設置ができるかどうか、というのは気にはしています。電話線が入っているところは大抵大丈夫だろうと思いますが、今若い人はみんな携帯で、電話機を置いておくところがなくなってきています。そういう意味では一気に進むのかどうかというのはあります。そうするとバラバラで入っていった場合、子どもと学校とのそういう格差というのは、子どもはすぐタブレットを使えると思うのですが、ご家族の年齢層にもよると思うのですが、ご家族の方がほんとにすぐ使えるかどうか、ちょっと危惧しているところでしたので質問させていただきました。以上です。</p>
自治協委員	<p>タブレットのことについてですが、メリットばかりをすばらしいものだと説明してくださったのですが、デメリットとか考えていることがありました</p>

<p>学校支援課</p>	<p>ら、そのこととそれに対する対応などを教えていただけますでしょうか。</p> <p>ご質問ありがとうございます。デメリットについては、デメリットと言えるかどうか分かりませんが、情報モラルの問題というのが出てくるかと思えます。それぞれ子どもたちのモラルというのが問われることになるかと思えます。新潟市では新潟市 GIGA 宣言ということで児童生徒の合言葉として2つ設定をして浸透させていきたいと思っています。『学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。人が嫌がることや人を傷つけることはしません。』ということです。この考え方を繰り返し指導することによって浸透させていきたいと思えます。ただ、ルールでガチガチに縛るのでは子どもたちの情報活用能力が高まりません。この場ではいいかもしれませんが、今後大人になっていった時もあります。この GIGA 宣言の意味を日々の指導の中で繰り返し指導をしたり、その場面を捉えて指導したりすることで、浸透させていくというように考えております。あと当然ですがフリーで渡すわけではありません。フィルタリング等もかけ、児童生徒に渡すことになっています。そういった情報モラルの問題については、私も授業開きをいくつかの学校を見に行かせていただいたのですが、最初そこを重視徹底して指導している学校もあり、各学校でも当然意識をしているところでもあります。そこがデメリットと言えればあるのかなと考えております。以上です。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>加えて今ほどの質問に対してですけれども、いくつかのところで、実際に子どもたちの生の温かい関わりが減るのではないか、みんながタブレットに集中して動かしているだけの授業になってしまうのではないかと危惧される向きもありました。実際にパイロット校では、タブレットがあるために会話が進んだり思考が深まったりという姿がたくさん見られるのです。ただ、これは使い方にもよると思えます。どういう使い方をすると子どもたちの考えが深まったり、様々な関係がより親密になったりするような使い方ができるかということについて、6回の研修を職員向けにしているところです。ここでは、こういう授業があるということについて伝えていきますし、新しい授業の在り方については、デジタル版で来年度以降、各学校全てに発出をします。授業の参考にしてもらえればと思っています。以上です。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>ルーターの関係ですが、南区で12のコミ協があり地域生活センターを活用してコミ協活動を行っているのですが、私どもコミ協の利用者、地域生活センターの利用者の中で、夏休みとかに子どもたちが来て勉強や宿題をやったりする場があります。そこでルーターの設置というのが地域生活センターを利用する方の要望として非常に多い。ましてタブレットになれば家庭での設置というのは先ほどお話を伺ったような状況がありますのでいいのです</p>

が、これは南区地域総務課の問題かもしれませんが、地域生活センターにおける Wi-Fi の整備などの活動をしておかないと、いざコロナが終わって子どもたちが「みんなで宿題やろう」とやってきた時に「いや使えないよ」ということでは困るかなと思います。その辺についても教育関係者と地域総務課の方とお話をさせていただいて、地域生活センターの予算の中になるのか、その辺についてもいずれかのご指導をしていただきたいという要望です。もう一つ先ほどメリットデメリットの話がありましたが、個人的な話ですが、私は6年生と4年生の孫と一緒に住んでいるのですが、先ほど説明があったように学校の中の子どもたちのコミュニケーションというのはこういうツールを使うことによってコミュニケーションが失われるよりはむしろ増えると思うのですが、私が見ている個人的なところですが、親子のコミュニケーションというのは子どもが宿題がこうだ、すると母親がここがこうだあーだみたいなことが各ご家庭でもいっぱいあり、そこに親子のコミュニケーションというのがあるのかと思っています。そこで学校側が子どもに教える教育のメッセージだけではなく親子のコミュニケーションがこの道具によって逆に遮断されるようなことがないように配慮が必要ではないかと。私どもの団地でいえば共働きでお母さんと子どもの接点というのは夕方、夜になって宿題を見ることがコミュニケーションの接点とすれば一番大きいのかと思いますので、その辺について、ご配慮をお願いします。以上2点についてです。

学校支援課

ご質問ありがとうございました。今のは、重要な指摘だと思っています。学校や家庭だけではなくて、子どもの学びの場というのはたくさんあるわけです。そういう場についてどうしていくかというのは、こちらも様々な考えを巡らせています。例えば、放課後児童クラブ（ひまわりクラブ）にも Wi-Fi の整備等を考えているところです。それをどこまで広げるかについては予算の問題がありますので、今ここでやりますと明言はできませんが、子どもたちの学びの場が広がった時にどういうところに置くことがいいのかということも含めて検討させてもらおうと思っています。ありがとうございました。

司会

今、委員の方からお話のあった内容は教育だけというよりは地域や家庭も巻き込んでの内容かと思っています。また、この後の自治協の中でもたぶん重要な話になってくる部分もあると思いますので、関係各課と連携させていただきながらやらせてもらう必要があるのではと支援センターの方でも考えました。ありがとうございました。

自治協委員

タブレットは、これからは絶対に必要な教育要件だと思いますが、先生方の教え方、特に中学へ行ったらプログラミングなどいろいろやる時に教え方

<p>学校支援課</p>	<p>で子どもにすごい差が出るのではないかと思います。先生方の教える方の教育はどのようになっているのか教えていただければと思います。</p> <p>ご質問ありがとうございます。学校職員の方ですが、GIGA 全体の考え方に対する研修も行っていますし、アプリケーションと呼ばれるロイロとかの使い方の研修も行っているところです。ただそれだけでは足りないところもあるかと思っています。この3月までは GIGA スクールサポーターとして ICT 器機に詳しい人を採用して各学校に行ってお手伝いをしてもらったりしています。実際に授業開きの中でも GIGA スクールサポーターが1クラスに3人ほど入って、器機操作を生徒と一緒にやっている姿もありました。4月からは ICT 支援員が先生方の支援をすることになっています。また、そういった全体の研修と個々の支援というのを並行してこれからも進めていく予定です。以上です。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>GIGA に伴う ICT の活用で、いろいろと学校の教育システムが変わってくるわけです。そうすると子どもに対する評価方法、あるいは学校の先生方の教え方に対する評価方法が当然変わってくると思うのですが、どの程度変わってくるのですか。我々素人からすると今までの先生の見目が変わってくるのか、あるいは子どもに対する考え方が変わってくるかあるかと思いますが、評価についてご家族の方がより理解しやすいような方法になるのかどうか、お聞きしたいと思います。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>ご質問ありがとうございます。GIGA が進んで ICT を入れるといってもそれは方法であり、目標は変わりません。今全国で「主体的で対話的で深い学び」の実現と言われています。そのために ICT の器機が使われるわけであり、教育の目標は変わらないわけです。小学校でいうと今年度から、中学校でいうと来年度から、学習指導要領が変わって評価の観点が少し変わります。それについては学校側も事前に子どもと共有したり家庭に連絡したりとお伝えしながら共有を図っていくところであります。それについては GIGA の動きと時期が重なっていますが、あくまでもパソコンを使うことが全てではなくて、教育の目標は今までと大きく変わっていません。以上です。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>スタートしたばかりなので大変なことだろうと思います。教育というのは、子どもは大変大きな影響を受けますので、評価一つでガラッと人生が変わることが多々ありますから十分注意してお願いしたいと思っています。以上です。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>そこはよく見誤らないように、しっかりと進めていきたいと思っています。あ</p>

司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>質疑の方、こちら辺で終了させていただきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。</p>
議 事	4 南区自治協議会会長挨拶
自治協議会 会長	<p>一昨日衆議院の予算委員会が始まりました。朝口の2番目の討論がまさにこのGIGAスクールでありました。非常に熱の籠った討論が繰り返されてきました。イノベーションのゲートウェイですから様々な困難な面、その門の先に何かあるかわからない面もたくさんあるかと思えます。私が小学校の5年生の時、NHKのテレビで初めて教育放送が採用になりました。60数年前であります。大勢で初めて14インチの一箱だけは大きかったけれども画面が小さいテレビを見させてもらいました。大変驚きました。理科の番組でありました。おそらく新しい時代を迎えたこのGIGAスクールも様々な困難なことに会うことと思えます。新たな感激感動や新しい学びのスタイルを、子どもたちに提供してくれるものだと確信はしております。ただ、今の質疑応答の中にありましたように、どこまでそれを先生方や行政や地域の私たちが受けとめて行けるかどうか、ここもまた大きな課題であります。自治協議会でも、この問題につきまして討論をさせていただきました。8区の会長の会議の中でも討論いたしました。いろいろと難しさはあるけれども、避けては通れない新しい時代の幕開けなんだということで、先回の会長会議では結論付けさせてもらいました。それでも心配なことがあります。子どもたちへの「生の感動」を「心のざわめき」をいかに伝えていくか、これです。ここ30年ほどで教育の捉え方がずいぶん変わってまいりました。たくましく生きる力を養う。豊かな心を醸成する。特に、豊かな心をどう作り上げていくかにつきましては非常にファジーなまま、今までやってきました。豊かな心とは何か。新潟市の教育委員会でも、少しこの議論が薄かったように記憶しております。IT化が進み、様々な先進先端の技術が導入されたときに子どもや私たち大人にいかに感動を与える、心を揺さぶるシステムになっているか、これが極めて大事であります。どうか教育委員会の先生方も豊かな心をいかに作りあげていくのか、そのための手段として、先進のIT技術を導入するんだと、この原点に帰ってさらに研究を進めていただければと思います。私たち自治協議会も地域も、この時代をよりたくましく生き抜いていくために勉強することをお誓いいたしまして、閉会のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。</p>
議 事	5 閉会

司 会

以上をもちまして、令和2年度南区教育ミーティングを閉会いたします。
皆さま、長時間にわたりたいへんありがとうございました。